

2025(令和7)年度 大蔵小学校 学校経営方針

町田市立大蔵小学校

校長 岩月 尊之

大蔵小学校 教育目標

- 仲よく助け合う子ども
- よく考え、工夫する子ども
- 体をきたえ、やりぬく子ども

これまでに培われた校風を継承しつつ、この教育目標を達成するため、「チーム大蔵」として全教職員の力を結集し、学校経営を推進する。

また、「町田市教育プラン 24-28」の実現に向けた取組も推進していく。特に「学び続ける力」は変化の大きな時代に欠かせない力と捉えている。

楽しく学ぶことがその力を育むとの信念のもと、全教職員一丸となり、授業力向上に取り組む。

目指す学校像

「楽しく学び、自己肯定感を高めることができる学校」

指導の方針

- ①ほめて・認めて伸ばす
- ②寄り添って聞く
- ③訳を添えて話す
- ④チーム大蔵で子供を育てる。

目指す児童像

明るく元気にあいさつのできる子ども
粘り強くあきらめない子ども
人を大切にできる子ども

【明るい子】
【粘り強い子】
【思いやりのある子】

目指す教師像

明るく前向きな教師

【児童のお手本となるような明るく前向きな言動】

学び続ける教師

【授業で勝負する 授業を大切にし、粘り強く学び続ける熱意】

違いを尊重できる教師

【子供のよりよい成長のために協力し合う協調性 同僚性】

2025(令和7)年度 学校経営方針

【社会に開かれた教育課程の実現】

- 目指す学校及び子供の姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。
 - 1. 積極的な情報発信と公開を通して、教育活動への理解を求める。
 - (1) ホームページを充実させ、定期的に更新して学校の様子を伝えていく。
 - (2) 地域とともにある学校を目指すために、日々の教育活動や行事等を積極的に地域に公開する。
 - 2. 地域の環境を生かした活動、地域と共に活動する体験活動を企画し、実践していく。
 - (1) 学校運営協議会を通じて、目標や課題を共有し、教育の質の向上を図る。
 - (2) 外部講師やボランティアを積極的に活用し、地域学校教育活動の充実を図る。

【確かな学力の育成】

- 授業改革の実現を目指し、知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等の育成とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。
 - 1. 基礎的・基本的な知識・技能を個々の児童の実態に応じ、確実に身に付けさせる。
 - (1) 相互授業観察を積極的に進め、教員同士の学びあいを通して授業力の向上を図る。
 - (2) 授業をデザインする8つの取組を意識した授業改善を図る。
 - 2. 学習への興味・関心を高め、主体的に「学び続ける」子供を育てる。
 - (1) 主体的に学ぶ児童を目指し、授業力向上にむけ教員同士が学び、高め合う風土の醸成。
 - (2) ねらいに応じて、ICT 機器を効果的に活用する力を育てる。
 - (3) 多様な学び方や学習形態を選び、自らの学びを調整し「主体的に学ぶ」ことのできる児童を育成する。

【豊かな心の涵養】

- 多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。
 - 1. 安心安全な学校生活を送れるようにするために、一人一人の規範意識を高める。
 - (1) 「大蔵小学校スタンダード」に従って、統一した指導のもとで、規範意識の徹底を図る。
 - (2) 自分から進んで挨拶をする子の育成を図るため、教員が率先して挨拶をする。
 - 2. すべての児童が明るく楽しい学校生活を送れるようにするため、相手を思いやる心を育てる。
 - (1) 道徳授業や学級活動を中心にして、安心して意見を言える学級づくりを行う。
 - (2) いじめ等の問題行動の根絶に向け、スピード感と柔軟性のある対応をできる組織を構築する。

【健やかな体の育成】

- 正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。
 - 1. 運動の日常化と食育の充実を通して、基礎体力の向上を図る。
 - (1) 体育の授業改善を行うとともに、一校一取組を充実させ、体力向上を図る。
 - (2) 家庭との連携を図りながら教育活動全体を通して、組織的・計画的に食への関心を高める。
 - 2. 児童への安全指導の充実、非行・犯罪・被害防止教育の推進を図る。
 - (1) 清掃活動を徹底し、気持ちよく学習できるきれいで豊かな環境づくりを心がける。
 - (2) 危機管理情報（健康、問題行動、安全、交通事故防止、不審者対応、ネットマナー等）を校内で共有し、指導の重点としていく。

【共生社会の実現】

- 「学校 2020 レガシー」の構築を通して、共生社会の実現を目指す。
 - 1. 外部人材等と連携し、人権感覚、共生意識、国際感覚の醸成を図る。具体的には、日本人学校派遣教員や JICA 派遣教員の経験を生かして、海外の文化、日本文化、障がい者等への理解を図る。